

2015年度学校自己評価(かもめ幼稚園)

学校法人東海大学初等中等教育課

評価(Aよい Bおおむねよい Cどちらともいえない Dやや不十分 E不十分)

分野	重点目標	成果と課題	評価	改善策・向上策
園運営(分掌)	学校評価(自己評価・保護者アンケート)をふまえ、学校運営上の課題について、改善する。	2015年4月より国の方針、大学の方針をうけて幼稚園に保育機能を併せ持つ幼保連携型認定こども園としてスタートし、新たに0歳から2歳の保育を必要とする園児の受け入れを開始した。就労していても幼稚園教育をうけられるというメリットもあり、地域の注目が集まった一年であった。東海大学の幼児教育の方針を基盤として幼稚園全体のより一層の教育の充実を図ると同時に保護者の協力を得ながら、保育部の運営体制の整備を進めていきたい。	B	東海大学の付属幼稚園としての特色ある教育を基盤とした独自の教育内容を精査しながら、教育内容・子育て支援の充実を図りたい。0歳～2歳の乳幼児の受け入れについてはさらに安全面を留意しながら保育を進めていきたい。
保育指導・幼児指導	主体的に興味関心のある遊び・及び課題に意欲的に取り組み、生きる力を身につけられる保育を展開する	昨年に引き続き健康な身体作りの一環として園児の体力測定を行った。結果をもとに普段の遊びの中で運動能力を高める活動を取り入れていきたい。また、創造力を育む知的財産教育も生きる力を育む教育の一環として継続して取り組んでいきたい。	A	今後も体力測定を継続して行い、園児の健康な身体作り、運動能力の向上を図りたい。大学付属としての特色ある教育活動をさらに推進できるよう指導力の強化を図りたい。
クラス指導	教育目標を取り込んで、学級運営と学年運営の充実を図り、特色あるクラス指導をする。	本園の教育目標である明るく逞しく創造性豊かな子どもの育成をめざし、各クラスの学級経営案に即して、様々な遊びや実体験を通して特色ある楽しいクラス作りを行うことができた。	A	今後も教育目標に即した教育活動を精選し、特色あるクラス作りを行いたい。
生活指導	自立できる子どもをめざして、それぞれの子どもの成長に寄り添って、発達段階を見据えた指導をする。	日々の生活指導を繰り返すことにより挨拶や片付けなどの基本的な生活習慣の定着に一定の成果がみられた。今後も家庭と密に連絡をとりながら、日々の生活指導の支援を行いたい。	B	今後も各家庭の協力を得て連携してより良い生活習慣の獲得を目指したい。
就学指導	就学について、情報を提供し、さまざまな相談に応じ、適切な指導をする。	小学校見学、連絡会、研究授業参観などを通してスムーズな就学へ繋げることができた。今後も積極的に小学校との連携を図る必要がある。	B	学級懇談会などを通して、保護者に情報を発信していきたい。
特別活動	園行事や保育活動等を通して、豊かな情操を培い、異なる学年との交流が図られるよう指導する。	幼稚園の異年齢の園児の交流のみならず、色々な行事を通して東海大学及び付属熊本星翔高校の学生、生徒や近隣の中学校のナイスライでの交流を図る中で豊かな情操を育むことができた。	A	今後も園行事等の活動を通して豊かな情操、感性を養い、異年齢交流をさらに積極的に推進していきたい。
研修	保育改善、研修、自己課題等に積極的に取り組み、先取的保育が構築できるように研鑽する	こども園開設とともに、熊本市が実施する研修に積極的に参加し、保育内容の充実と自己研鑽につとめた。園内においても共通のテーマのもと園内研究を進め成果をあげることができた。	A	教育、保育、加えて養護に関する研修を深め更なる自己研鑽につなげたい。